

ITUAJより

編集後記

CESは、50年余りの歴史がある電子機器の見本市で、その時代の新しい技術やコンセプト、製品を展示し、多くの参加者をラベガスに集めてきました。

しかしながら、2021年1月は、多くの催し物と同様にCOVID-19の感染拡大の影響を受け、完全オンラインで開催されました。

そして、今回2022年1月のCESは、オンラインと会場、ハイブリッドの開催になりました。

ITUジャーナルではこの5年ほどCESレポートを掲載してきていますが、最近の状況の変化に伴い、CES自体がこれからの大規模な展示会の開催方法や手法についての見本市にもなっていると感じられます。

本特集CES2022、開催もハイブリッドでしたが、ご執筆も現地・オンライン両方のご参加者からいただきました。どうぞご精読ください。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	菅田 洋一	総務省 国際戦略局
〳	山口 大輔	総務省 国際戦略局
〳	石川 幸恵	総務省 国際戦略局
〳	竹内 謹治	総務省 総合通信基盤局
〳	中川 拓哉	国立研究開発法人情報通信研究機構
〳	荒木 則幸	日本電信電話株式会社
〳	中山 智美	KDDI株式会社
〳	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〳	熊丸 和宏	日本放送協会
〳	大島 佳介	一般社団法人日本民間放送連盟
〳	菰田 正樹	通信電線線材協会
〳	中兼 晴香	パナソニックオペレーションズ株式会社
〳	牧野 真也	三菱電機株式会社
〳	長谷川一知	富士通株式会社
〳	飯村 優子	ソニーグループ株式会社
〳	神保 光子	日本電気株式会社
〳	中平 佳裕	沖電気工業株式会社
〳	小川 健一	株式会社日立製作所
〳	吉野 絵美	一般社団法人情報通信技術委員会
〳	島田 淳一	一般社団法人電波産業会
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〳	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〳	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

WTSA-20開催状況

日本電信電話株式会社

あら き のりゆき
荒木 則幸



私が編集委員を務め始めたのは約2年前ですが、これはちょうど新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散し始めた時期とほぼ同じです。それから2年経った今も、オミクロン株が猛威を振っている状況です。とはいえ、少しずつ状況は変化しているようで、2022年3月現在、新型コロナウイルスの影響でITU本部が閉鎖されて以降初めての物理開催のITUイベントとして、WTSA-20がCICG（ジュネーブ）で開催されています。感染症対策として、会場であるCICG内でのマスクの着用は義務付けられていますが、各国ホストのレセプションも立食形式で普通に開催されていました。現在スイスでは、公共交通機関や医療機関等を除き、街中ではマスク着用の義務もなく、ワクチン接種証明書の提示も必要なくなっており、日本と比べてかなり緩やかな規制となっています。

私自身、ちょうど2年ぶりのジュネーブ訪問となりました。普段はITUの出張で行きなれていたジュネーブですが、久々に訪れることができ感慨深いものがありました。街中はそれほど変わった印象はなかったですが、駅前のいくつかのお店が閉まっていて、街の明かりが若干減っているように感じられます。実際、よく訪れていたレストランも幾つかは閉店（もしくは休業中）となっていて、ジュネーブでも新型コロナウイルスの影響を実感させられました。

今回のWTSA-20は対面とリモートの併用で開催されていますが、対面での参加者は約600名とのことで、参加登録者の約4割がジュネーブの会場に参加しているようです。ITU-T SG15のメンバ等、旧知の人にも2年ぶりに対面で会うことができました。やはりPC画面越しに会話するよりも、親近感を感じることができ、対面での開催の重要性を改めて感じています。今回日本からは一部の参加者のみが対面で参加することになりましたが、一日も早く、誰もが普通に対面でITU会合に参加できるようになることを切に願います。

ITUジャーナル

Vol.52 No.4 2022年4月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 山川 鉄郎

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、石田直子、清水万里子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会